

平成29年10月27日（金）13時00分～

交通政策審議会海事分科会第94回船員部会議事録

【長岡船員政策課専門官】 それでは、定刻となりましたので、ただいまから交通政策審議会海事分科会第94回船員部会を開催させていただきます。

事務局を務めさせていただきます海事局船員政策課の長岡でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

本日は、委員および臨時委員総員19名中13名のご出席となりますので、交通政策審議会令第8条第1項及び船員部会運営規則第10条の規定による定足数を満たしておりますことをご報告申し上げます。

最初に、事務局を務めさせていただいている海事局に10月1日付で異動がございましたので、紹介させていただきます。

大臣官房審議官の七尾が異動し、その後任として大臣官房審議官の馬場崎が着任いたしております。

【馬場崎審議官】 馬場崎でございます。先生方、お忙しい中、大変ありがとうございます。今後とも、ぜひよろしくどうぞお願いいたします。

【長岡船員政策課専門官】 次に、配布資料の確認をさせていただきます。お手元資料ですけれども、議事次第、配布資料一覧、その次からが議題の資料となります。資料の番号は、資料の右上に記載してございます。資料1として、「平成29年度（第61回）船員労働安全衛生月間について」、両面のものが1枚でございます。資料2として、諮問文「諮問第291号 船員派遣事業の許可について」が2枚。その参考資料といたしまして、資料2-2が6枚でつづっております。こちらは委員限りの資料となります。

資料は以上でございますが、行き届いておりますでしょうか。以上で、資料の確認を終わらせていただきます。

それでは、議事に入りたいと思います。

本日は、野川部会長が所用によりご欠席のため、竹内部会長代理に司会進行をお願いいたします。

【竹内部会長代理】 竹内でございます。皆様、お忙しいところ、どうもありがとうございます。野川部会長は本日ご都合がつかないということで、私が代理ということで司会進行を務めさせていただきたいと思います。よろしくご協力のほどお願い申し上げます。

では、お手元にございます議事次第に基づきまして進行していきたいと思ひます。最初は、議題の1になります。「平成29年度（第61回）船員労働安全衛生月間の実施概要について」ということございます。では、ご報告お願いいたします。

【鈴木労働環境対策室長】 船員政策課労働環境対策室長の鈴木ございます。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、議題1の「平成29年度（第61回）船員労働安全衛生月間の実施概要について」、ご報告申し上げます。資料、お手元の右上番号の資料1と付されているものございます。この船員労働安全衛生月間ございます、毎年度の船員災害防止実施計画に基づきまして、毎年9月内において、集中的に船員災害防止の取り組みを関係者の皆様一丸となって取り組まれるものございます、本年度が第61回目になります。

本年度につきましては、冒頭ございますとおり、「元気に乗船 笑顔で下船 皆で取り組む ゼロ災害」をテーマにいたしまして、全国11の運輸局所在地を中心といたしまして、船員災害防止協会の支部、漁協、船舶所有者の皆様から構成される船員労働安全衛生協議会等が実施主体となりまして、現場の船員皆様を含めた諸活動にご尽力をいただきました。この場をお借りいたしまして、ご多忙のところ月間活動にご尽力をいただきました労使の皆様、そしてW I B講習会の講師を実施いただいております久宗委員には改めて御礼申し上げます。

それでは、各地域における活動の概要ございます、お手元資料の2. をごらんください。まず、(1)の大会、講演会等の開催ございます。①の船員災害防止大会を全国18カ所、のべ1,285名にご参加いただき、一定期間無事故・無違反等の事業者の方への優良事業者認定証の伝達ございますとか、救命胴衣と保護具の展示を行いました。また、この紙には記載してありませんけれども、労働災害防止や労働支援に関する優良な取り組みについて、幅広く周知をするため、本年度から開始をいたしました船員安全労働環境取り組み大賞の受賞者の方によるプレゼンテーションも実施いただいたところございます。

次に、②の講演会、講習会等ございますけれども、全国60カ所で3,000名弱の皆様に参加いただいております。その内容といたしましては、1ポツから5ポツまでございます、まず、1ポツの生存対策講習会ございますけれども、お手元資料の裏面ございます。裏面の上から2つ目の写真ございますとおり、例えば救命胴衣を着衣した状態で、膨張式救命いかだに乗船するといったような緊急時の対策を講習として実施している

ものでございます。

表面にお戻りいただきまして、2ポツの高年齢船員の災害疾病予防対策といたしましては、保健師の方による生活習慣病の予防対策等について講演をいただいているところでございます。

また、3ポツのW I B講習会につきましては、8月の長崎県の壱岐を皮切りに、この月間内の9月には姫路及び新潟にて講習を実施いただいているところでございます。

それから、4ポツの保護具の展示説明会ですとか、5ポツの衛生関係の講演として、メンタルヘルスケアを中心とする講演を実施しております。

なお、これら講演会・講習会、まとめて60カ所、2,987名でございますけれども、その内訳でございますが、5ポツの衛生関係の講演を最も多く実施いただき、この9月の月間内で34件を実施、1,767名のご参加をいただいております。次に多いのが、4ポツの保護具等の展示説明会でございます、この月間内で12件を実施し、735名のご参加をいただいております。

次に、(2)の船員無料健康相談所の開設でございますが、全国114カ所におきまして、健康相談所の開設や船員法上の指定への訪問等の機会を設定いただき、延べ765人の方に健康相談を実施いただいております。

また、(3)の訪船指導といたしましては、船内の突起物等の危険箇所やすべる箇所といったような危険箇所の注意喚起等につきまして、安全衛生に関するリーフレットを配布するといったような周知・啓蒙活動をさせていただき、全国281カ所の1,521隻に訪船をしております。

最後に、(4)その他といたしまして、操業中の漁船や現場の皆様に、巡視船等による会場からのマイクアナウンス等を行いまして、安全衛生の広報等を実施したものでございます。

なお、実施状況のイメージでございますとか、最近の活動別の実績の推移につきましては、裏面に記載しております。

当該月間における活動状況については、以上でございます。ありがとうございました。

**【竹内部会長代理】** ご説明、ありがとうございました。

それでは、ただいまのご説明につきまして、ご質問等ございますでしょうか。

はい、お願いします。

**【久宗臨時委員】** W I Bの講習会をさせていただきました久宗です。1点補足なので

すが、新潟で開催をした後に、大手フェリー会社の方からぜひこれを自社で費用を支払って実施したいということで調整をしております。これも、関係各位のご協力の賜物だと思ひまして、また今後も安全推進のためにW I Bを広げたいので、ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

【竹内部会長代理】 ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。よろしゅうございますでしょうか。

では、ほかにないようでしたら、以上でご説明ということで、議題の1を終了にしたいと思います。ありがとうございます。

では、次に議題の2に移ります。「船員派遣事業の許可について」でございますけれども、本件につきましては、個別事業者の許可に関する事項であり、公開することにより当事者等の利益を害するおそれがございますので、船員部会運営規則第11条ただし書きの規定により、審議を非公開とさせていただきますと思います。

マスコミ関係の方をはじめ、関係者以外の方はご退席をお願いいたします。よろしいでしょうか。

(非公開・関係者以外退席)

【竹内部会長代理】 本日意見を求められましたこの諮問につきましては、「別紙に掲げるものに対する船員派遣事業の許可について、許可をすることが適当である」という結論にいたしたいと思ひます。いかがでしょうか。

はい。ありがとうございます。それでは、ただいまをもちまして議題の2が終わりました、本日予定されておりました議事が全て終了となりますけれども、ほかに何かございますでしょうか。

平岡委員。

【平岡臨時委員】 内航未来創造プラン、これができ上がって、海事局内部で推進本部を発足させて、進捗状況その辺のところを検証していくということですが、20日の日に第1回の会合をやられているということですが、内航海運の活性化に向けた今後の方向性検討委員会の中で、3つの柱ということで、船員の確保、育成、この辺もしっかりうたわれていると思ひているんですけれども、自動運航化船とか、配乗表の見直しとか、その辺で若干我々が危惧が先行しているようなことになるのかなと思ひます。

ども、この中で船員の確保、育成についてしっかり検証されているのかどうなのか。その辺のところを推進本部で議論されたと思うんですけども、その辺の議論があれば、お聞かせ願えればと思っております。

それと、この推進本部の会議は定期的開催されると思うんですけども、議論の中身を例えばこの部会の中でフィードバックしていただければと思うんですけども、それはどうなんでしょうか。

【竹内部会長代理】 内容のご紹介と、そのフィードバックというのをお尋ねですけども、いかがでしょうか。

【増田船員政策課長】 ありがとうございます。先日、10月20日に内航未来創造プラン推進本部が立ち上げられまして、局内の検討会でございますが、本部長が局長ということで開催をしております。それぞれ、まず第1回ということでもございまして、各施策の今後の進め方ということで報告があったところでございます。

それで、船員のほうに関しましては、1つ、労働環境の優れた職場のPRということで、これまでに実施したのものとして、船員安全・労働環境取組大賞及び特別賞について、9月に実施したということをご報告いたしまして、それからベストプラクティス集を年内にホームページに掲載するというご報告をしております。全て内航プランのほうに記載のあるものでございます。

それから、求人票について、いろいろ職を求める方々への情報提供を充実するという取り組みもご紹介したところでございます。それぞれ各施策、ほかにも、例えば船舶料理士の資格の効率的な取得方法に係る検討については、これも内航プランにもございまして、年度内に第1回の開催をするということをご報告しております。

それから、船員派遣事業の許可基準の見直しに係る検討につきましては、こちらの船員部会のほうでご議論いただきました事項について、9月19日に通達の一部を改正して、関係団体へ通知したということもご報告しております。

それから、あと女性の活用・促進ということで、これは検討会を6月に開催いたしましたが、今度11月にも第2回を予定しております。その旨、報告しております。

それから、あと労働時間の適正な管理の実現、これについては予算要求の前回9月にご報告させていただきましたが、労働時間の適正な管理のためのソフトウェアの開発等の予算要求をしているということをご報告いたしました。

それから、あと技術の革新に伴う自動化、省力化などの今の船員の労働実態調査をやっ

ておりますので、こちらのほう、調査結果等を踏まえてまた取り組んでいくということで、こちらのほうも内航プランのほうに記載されておりますが、その旨進めておるということをご報告させていただいております。

それで、こちらのほうのこれまでまだ第2回以降検証されているものは、またちょっと部内のほうで検討させていただきますが、一定程度の進捗が出た時点で、船員部会のほうに報告というのでも検討させていただきたいと思います。

【竹内部会長代理】　　ということでございますけれども、いかがでしょうか。

【平岡臨時委員】　　こういうことをやりましたよ、そういうことを多分その中で論議されたのかなというふうに思うんですけども、実際に、例えば私が言ったように、船員を確保するために、海事局内でこういうことが必要じゃないかという議論はされなくて、あくまでも創造プランの中に書かれたことを行っているという理解なんですか。

【増田船員政策課長】　　おっしゃるとおりでございます、プランのほうに施策の実施に係るスケジュールとか、達成の目標といいますか、そういうものが定められておりますので、こちらのほうの推進本部では、実際のプランがどれだけ取り組みが進んでいるか、年度末に向けたスケジュールとか、そういうものを報告する場となっております。ですから、進捗があったものについてご報告をするということでございます。

【竹内部会長代理】　　ということですが。

【平岡臨時委員】　　じゃあ、ただ単にそこに集まって、内航未来創造プランに基づいて各課が担当した項目について、今現在の状況はこうこうこういうふうになっていますよという報告会ということですか。

【増田船員政策課長】　　おっしゃるとおりです。そういう意味で、それぞれの課長が全部出席しまして、それぞれに報告したということでございます。

【竹内部会長代理】　　要するに、進行がきちんとできているかどうかをチェックしていく場であるという理解でよろしいわけですね。

【平岡臨時委員】　　まことに申しわけないんですけども、業界紙が書いていることと、今課長の言われたことでは、若干違うんじゃないかなと思いますが、業界紙のほうには、具体的にその辺のところを検討していくというよう書かれているわけです。ですから、実際にその推進本部の中でいろいろなツールが出された部分についてしっかり論議して、その辺のところでも検証されているというふうに理解をしたわけですけども、今のお話では、各課が進捗をそのまま報告して、それで終わりだというふうに聞こえたんですけども、

そういう理解なんですか。

【増田船員政策課長】 質問等は二、三ございましたけれども、そんなに時間がとれるわけでもなかったものですから、各課から報告があったということで。例えば私どもの関連ですと、実態調査というのはどういう形でやっているのかなみたいな質問はありましたけれども、私が出席して私が報告しておりますので、間違いございません。

【竹内部会長代理】 ということですが。

【平岡臨時委員】 じゃあ、今課長のほうからお話があったように、それではある程度の状況に応じて船員部会の場で、その辺については報告していただけるという理解でよろしいですか。

【増田船員政策課長】 わかりました。

【竹内部会長代理】 では、そのようにしていただきたいと思います。

【立川臨時委員】 教えていただきたいのは、推進本部では、進捗ないスケジュールに沿った形で施策が進められているか確認をするということですか。

【増田船員政策課長】 施策実施に係るスケジュールや施策の達成状況について確認するとともに、達成状況を検証するということが、この目的とされております。具体的にスケジュールが示されていて、どこまでやるかということも内航プランに書かれておりますので、これが具体的にどこまで進んでいて今後どういうスケジュールでやるかということを含めて確認し合ったという場でございます。

【竹内部会長代理】 はい。

【立川臨時委員】 そうしますと、1つ質問です。内航のプランの中には、たしか500名という目的数値が出ていたかと思うんですが、それに対するスケジュール感というのは、既にあるという理解ですか。そうしませんと、どういう形で進んでいくかというのが報告のしようもないですね。その辺どうなんでしょう。

【竹内部会長代理】 その点、いかがでしょうか。

【馬場崎審議官】 済みません、私、来たばかりで大変申しわけないですけども、まず、推進本部は今課長がご説明したとおり、海事局は昔3局、直近でも2局を一緒にしたようなところですから、お互いの連絡を密にしておかないと、何をやっているのかわからないというところがあって、それを解消しましょうというのが1つ、それと、内航プラン、今おっしゃったプランですけども、具体的なことを書いてあるのですから、その進捗をまず幹部がちゃんと把握しましょう、それから関係部局との情報共有をしっかりと

ていきたいと思いますというのが目的になっているということなので、そういうことに尽きるということでありまして、今は内航プランに書かれているわりと具体的なものについて、これも前に進めましょうということで、今やっているという状況だにご認識いただければと思います。

【竹内部会長代理】 いかがでしょう。

【立川臨時委員】 今、審議官のほうからお話があって、大体中身的にはわかったわけです。そういうことなんだという理解をすることはできるのかもしれないんですが、内航プランの中にやはり「育成」というのが大きくうたわれているわけですね。具体的な数字もある中では、何か推進本部という部分が単なる報告会的な形ですよと言われると、「それじゃどうやって推進していくの」ということが問題になってきます。そういう意味では、船員政策課なり何なりが、どういうスケジュール感を持って500名を達成していくんだというお話を、例えばこういう場である程度スケジュール感を持ったお話をしておいてただかかないと、どこまで進んだかという話の検証にもならないでしょうし、その報告を受けても、全くどこまで進んでいるのか、訳のわからない、なかなか理解できない報告になってしまうのではないかというふうに思いますので、事前にそういうスケジュール感であるとか、いついつまでにとというようなことをどこかの機会、ないしはなるべく近々のうちにお示し願いたいと思います。以上です。

【竹内部会長代理】 ありがとうございます。情報をしっかりお互いにチェックし、また、問題を認識するということが、もちろんそれは前提、大事であって、おそらくそこで具体的に計画がないときには、なかなか進んでいなければ、それは何とかしなければいけないということがそこで確認してわかると。そこで、また新たな対策を取っていくことになるんでしょうけれども、そういう状況について、船員部会としてもやっぱり把握をしたいということでありましょうから、そういうところのフィードバックといいますか、情報提供をお願いできればということですね。

はい、ありがとうございます。

【馬場崎審議官】 いずれにしても政策なので、我々抽象論をやっているわけではないものですから、具体的に施策を進めるに当たって、いろいろご相談させていただくということなのかなと思っておりますので、よろしくどうぞお願いいたします。

【竹内部会長代理】 はい、ありがとうございます。ほかにはいかがでしょうか。よろしいでしょうか。



では、ほかはないようでしたら、本日の議事、これで終了ということになりますので、事務局よりお願いいたします。

【長岡船員政策課専門官】 どうもありがとうございました。

次回の部会の開催日程につきましては、部会長にお諮りした上で、改めてご連絡をさせていただきます。

事務局からは以上でございます。

【竹内部会長代理】 それでは、以上をもちまして、交通施策審議会海事分科会第94回船員部会を閉会いたしたいと思います。

本日はお忙しいところ、委員及び臨時委員の皆様にはご出席をいただき、どうもありがとうございました。

【馬場崎審議官】 どうもありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。

— 了 —